

みやぎのだより

No. 126

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和4年1月14日



【撮影】白石・七ヶ宿支部 佐久間 幸枝さん

CONTENTS

新年のご挨拶……………	1	令和3年度 春肥および土壌改良資材の現状と 価格について(令和3年12月現在情報) ……	7
12月以降の新型コロナウイルス感染症に係る 組合の対応について ……	3	飼料情勢 ……	8
東北地域乳質基準設置要領の改正(乳質自主 規制の見直し)について ……	4	搾乳関連機器の洗浄について ……	9
婦人部仙南支部、オリジナルエコバックを製作…	5	令和3年度 生乳生産実績 ……	10
ミルクキャンペーンキャラクター決定!! ……	5	理事会通信……………	10
牛乳ひげスマイルコンテスト ～楽しく飲んで、笑顔になろう!～ ……	6	売りたいし、買いたいし……………	11
		編集後記……………	11

新年のご挨拶



みやぎの酪農農業協同組合
代表理事組合長

伊藤 一成

組合員の皆さま、あけましておめでとうございます。

令和4年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

年頭にあたり、組合員の皆さまから旧年中に賜りましたご支援、ご協力に対し、厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、豪雨や凍霜害などの自然災害に加え、豚熱や鳥インフルエンザなどの重要家畜疾病により多大な被害が発生し、そして長期化する新型コロナウイルス感染症は、人々の暮らしのあり方を変え、経済・社会、酪農分野にも大きな影響を与えた一年でございました。

取り分け、3年連続の生乳増産により、ようやく整った感のある酪農生産基盤の一方、コロナ禍を背景として業務用乳製品の不振と夏場以降の飲用消費の落ち込みが重なるなど、大幅な生乳需給緩和で乳製品在庫が過去最高水準で積み上がるなど厳しい状況が続いております。

加えて、燃料や原材料など各種コストの増加が酪農乳業界を悩ませた一年でもありました。

酪農関係では飼料全般が右肩上がりで上昇し、配合飼料価格は令和2年度第三四半期から同3年度第2四半期まで4期連続での値上がりとなり、粗飼料も世界的なコンテナ不足のありを受けて輸入量自体が減少し、酪農経営を圧迫しております。当組合といたしましては、組合員の皆さまが安心して営農活動を継続できるよう、引き続き尽力いたし、そして今年こそコロナ禍が終息し、穏やかな日常や活発な経済の営みを取り戻せることを切に願っております。

また、昨年は未曾有の被害をもたらした東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の発生から10年目の節目の年でした。しかし、未だ故郷に戻れていない方もおられるなど、復興は道半ばであり、全国連や指定生乳生産者団体など系統協同組織と連携しながら、国産食料の基であります酪農の発展と地域の活性化を通じて被災地の復興に貢献してまいります。

さらに、コロナ禍によって予期しなかった変化も見られ、その一つが国内食料供給の重要性



について改めて評価されたことであります。現在、わが国の食料自給率は40%を切っており、自給率が低いということは、消費者たる国民が安い輸入食料を指向している結果に過ぎず、経済学で言う「比較優位の原理」です。行き過ぎた海外依存の危険性が顕在化しており、今、行うべきはこれを契機に、食と生活を守る安全保障を真摯に考え、過度の貿易自由化に歯止めをかけ、食料自給率の向上政策を強化すべきであると考えます。

さて、本年は平成13年の合併から数えて21年目の年にあたります。明治の元勳・大宰相の大久保利通は、「明治維新の精神を貫徹するためには30年の時期が要るとして、第1期10年は創業の時期、第2期10年は建設の時期、第3期10年は発展を待つ時期」との言葉を述べたとされておりますが、この言葉を心に刻み、これからの10年は更なる発展に向け、業務執行の理想を常に追い求めたいと考えております。そして、これまでの20年は、時々の時代の変化の中で、組合員の皆さまはもとより、役職員が挑戦し続けてきた歴史でもあり、その歴史を引き継ぎ、次の10年も「組合員・地域にとってなくてはならない組織」であり続けるため、役職員一人一人がたゆまぬ努力で、与えられた役割と機能の発揮に貢献するよう、しっかりと舵取りをまいります。

また、当組合の組織活動においては、当然のことながら組織活動の主役は組合員の皆さまであり、組合員の皆さまの自主・自立による運営から成り立つ事業活動が根源にあります。そのためにも、組合員の皆さまが自ら出資し、自ら事業利用するための組織として、さらなる組合事業の率先利用につながるよう、今後の組織のあるべき姿を絶えず共に考えていきたいと考えております。

酪農をめぐる情勢は、大きく変わりつつありますが、組合員の皆さまが将来に希望を持ち、安心して経営を持続できるよう、一層邁進してまいります。

最後に、組合員皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

12月以降の新型コロナウイルス感染症に係る 組合の対応について

指導課

酪農家の皆様の健康を守り、生乳生産活動の継続を図ることが重要であるとの観点から、令和4年3月まで引き続き支部、青年部及び婦人部等の活動自粛対応を継続いたします。また、職員の農家訪問についても同様に自粛させていただきます。

何かとご不便をお掛けしますが、感染症防止のための活動の自粛についてご理解とご協力をお願いします。

対策の全体像

①現状

- ・ 全国の新規感染者はワクチン接種の効果もあり低い水準で推移している
- ・ 新規感染者数の減少に伴い、療養者数、重傷者数、死亡者数も減少が続いている
- ・ ワクチン接種が先行する諸外国において、ブレイクスルー感染が拡大している
- ・ 大幅な規制緩和の中の諸外国ではリバウンドが発生している

②一般的に考えられるリスク

- ・ 冬場は過去の経験から、色々な感染症が広がりやすく、昨年も冬になってコロナ感染が増えてきた
- ・ 気温が低くなると免疫力が低下する
- ・ 人の移動が活発になったりすると、感染が再び拡大し第6波の可能性が懸念される
- ・ 新たな変異株も発生しており、引き続き注視していくことが必要である

③酪農における特殊事情

- ・ 酪農家で感染者・濃厚接触者が発生した場合、生乳生産活動を継続するために代替要員として酪農ヘルパーを派遣して対応している
- ・ しかし、組合員組織など酪農家が複数集まる場において感染者・濃厚接触者が発生した場合、酪農ヘルパーでは対応しきれない状況になってしまう
- ・ 最悪の場合は生乳の廃棄といった状況も想定される

最後に、酪農家の皆さんにはワクチン接種を含め、マスクの正しい着用、手洗いとうがい、ゼロ密や換気といった、基本的な感染対策の徹底についても引き続きご協力をお願いします。



東北地域乳質基準設置要領の改正 (乳質自主規制の見直し)について

販売課

現在、乳質自主規制については、上期と下期に実施している配分検査において、別に定めた基準を満たさない場合は、1日間の出荷停止する措置を設定しております。

しかし、近年産業界全体で取り組むことが求められているSDGsに対し、現在実施している出荷停止措置による生乳廃棄は社会的に問題視されることが懸念されることから、環境や食品ロス軽減に配慮した酪農経営を目指すこととし、1日間の出荷停止措置を廃止し金銭ペナルティへ置き換える内容に見直しされます。

1. 見直しの内容

- (1) 1日出荷停止分を▲7/kgの金銭ペナルティへ置き換える
- (2) kg▲7円の算定根拠
 令和2年度平均精算単価▲107.85円/kg×15日分の1日で算出
 ※乳価テーブルも現状の単価に▲7円/kgを加算した格差金単価へ見直し

2. 改正時期 令和4年4月1日

乳価テーブル

無脂乳 固形分率(%)		8.00%未満	8.00	8.10	8.20	8.30	8.40	8.50	8.60	8.70	8.80	8.90以上
		一律▲27円	スライド0.1%につき ▲40銭				±0	スライド0.1%につき +40銭				
3.20%未満	一律▲27円	▲54	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27	▲27
3.20	0.1%につき ▲30銭	▲27	▲2.10	▲1.70	▲1.30	▲0.90	▲0.50	▲0.10	0.30	0.70	1.10	1.50
3.30		▲27	▲1.80	▲1.40	▲1.00	▲0.60	▲0.20	0.20	0.60	1.00	1.40	1.80
3.40		▲27	▲1.50	▲1.10	▲0.70	▲0.30	0.10	0.50	0.90	1.30	1.70	2.10
3.50	±0	▲27	▲1.20	▲0.80	▲0.40	0.00	0.40	0.80	1.20	1.60	2.00	2.40
3.60	スライド 0.1%につき +30銭	▲27	▲0.90	▲0.50	▲0.10	0.30	0.70	1.10	1.50	1.90	2.30	2.70
3.70		▲27	▲0.60	▲0.20	0.20	0.60	1.00	1.40	1.80	2.20	2.60	3.00
3.80		▲27	▲0.30	0.10	0.50	0.90	1.30	1.70	2.10	2.50	2.90	3.30
3.90		▲27	0.00	0.40	0.80	1.20	1.60	2.00	2.40	2.80	3.20	3.60
4.00		▲27	0.30	0.70	1.10	1.50	1.90	2.30	2.70	3.10	3.50	3.90
4.10		▲27	0.60	1.00	1.40	1.80	2.20	2.60	3.00	3.40	3.80	4.20
4.20		▲27	0.90	1.30	1.70	2.10	2.50	2.90	3.30	3.70	4.10	4.50
4.30以上	上限一律+2円40銭	▲27	1.20	1.60	2.00	2.40	2.80	3.20	3.60	4.00	4.40	4.80

衛生的乳質格差金

ランク	細菌数	格差金	体細胞数	格差金
A	5万未満	0円	20万未満	0円
B	5万～10万未満	0円	20万～30万未満	0円
C	10万～30万未満	-1円	30万～40万未満	-1円
D	30万以上	-12円	40万～50万未満	-3円
E			50万～80万未満	-12円
F			80万以上	-25円

婦人部仙南支部、オリジナルエコバックを製作

指導課

今回、婦人部仙南支部(部長 佐藤ひろ子)では、オリジナルのエコバックを製作しました。この事業は、新型コロナウイルスへの感染防止のため、グループLINEなどで打ち合わせを行い、実施されました。

デザインを担当したのは部員の佐久間幸枝さんの長女、里穂さんです。デザイン学校に通う学業の合間に快く製作に協力していただきました。牛のイラストは自家牧場の牛から図案を起こしてもらい、背景は爽やかな牧場をイメージしたデザインになりました。

部員からは、丈夫で大きく、内ポケットに収納した見た目も可愛い、牛1頭ごとに色だけでなく柄が違って本当の牛らしいと好評をもらっております。お買い物だけでなく様々な場面で使用して、酪農や牛乳をアピールしてもらいたいと思います。



ミルクキャンペーンキャラクター決定！！

販売課(普及協会)

11月28日(日)にホテルモントレ仙台にて、「ミルクキャンペーンキャラクター選考会」を開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、関係者のみでの開催といたしました。

応募総数62件の中から、書類審査を経て選出された10名による最終選考が行われ、栄えある2022年度・2023年度ミルクキャンペーンキャラクターに選ばれたのは、「大山夏実さん」と「高橋優奈さん」です。来年度からは、お二方に牛乳・乳製品の魅力をPRしていただき消費拡大に取り組んで参ります。

また、現ミルクキャンペーンキャラクターの「飴井千晃さん」、「木村柚衣さん」には新型コロナウイルスの影響もあり実質1年程の活動期間となりましたが、牛乳・乳製品のPR活動に尽力していただきました。お疲れ様でした。



牛乳ひげスマイルコンテスト ～楽しく飲んで、笑顔になろう!～

販売課（普及協会）

ミヤギテレビ放送共催で、牛乳を飲んだ後の“牛乳ひげ”になった子供の写真コンテストを実施しました。

「楽しく飲んで、笑顔になろう!」をテーマにテレビCM等で告知・募集した結果、261点の応募があり、グランプリ1名、宮城県牛乳普及協会賞5名、ミヤギテレビ賞5名を選出し、入賞作品でテレビCMを制作し、2月の放送を予定しております。

是非ご家庭でも、お子さんやお孫さんの“牛乳ひげ”を撮影してみてください。

👑【グランプリ】👑



「お風呂上がりの1杯」

【宮城県牛乳普及協会賞】



「自然の中でモー1杯!」



「牛乳だいすき」



「みんな牛乳だいすきー!」



「遊んだ後の牛乳」



「やっぱり牛乳が一番!」

【ミヤギテレビ賞】



「牛乳ダイスキ!」



「いつも美味しい牛乳ありがとう」



「牛乳飲みながら姉弟で変顔」



「牛乳おいしい!サイコー!」



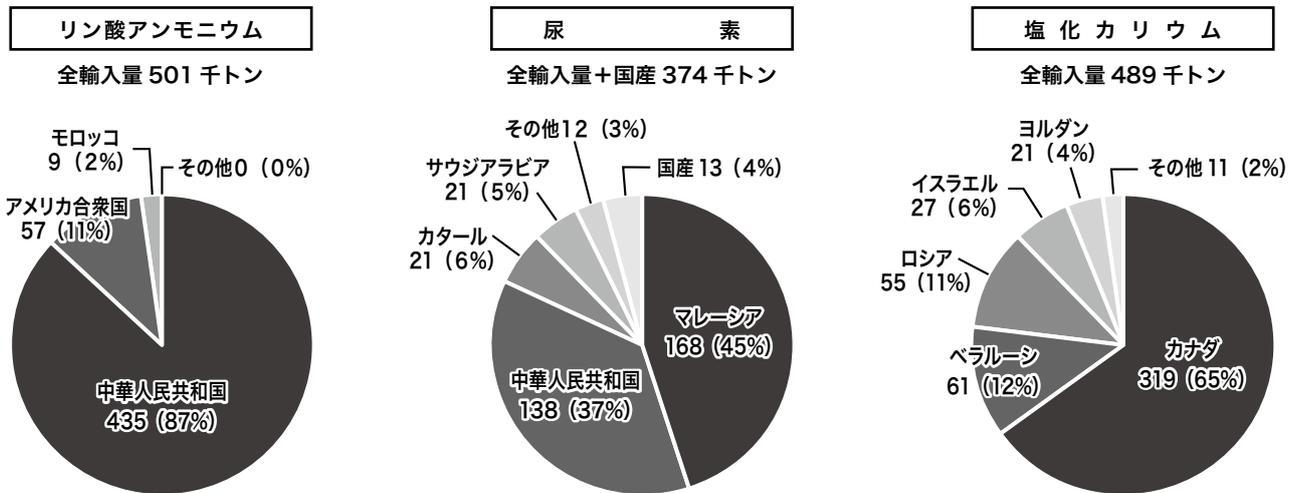
「毎日ぎゅーと笑顔」

令和3年度 春肥および土壌改良資材の現在の状況と価格について、ご案内致します。

春肥の受注期間は通例11月頃から翌年5月頃までですが、今年度は世界的に例の無い肥料情勢となっており、12月時点でメーカーの生産目途が立たず、情勢の変化によっては期中に価格改定の可能性がある状況です。

1. 原料輸入情勢

肥料原料の大半は輸入に依存しております。下図は主原料の尿素、リン酸アンモニウム、塩化カリウムの輸入情勢です。中国からの輸入割合が多い状況となっております。



(出典) 財務省「貿易統計」(2019年7月～2020年6月)

2. 原料事情

肥料原料の国際価格は、穀物相場の上昇を受けた結果、肥料の需要が増え値上がりしております。

窒素・リン酸原料の世界最大の輸出国である中国が、国内需要を優先する政策を示し輸出規制を行い、更には中国国内の電力不足による製造遅延も生じた結果、世界的に供給懸念が高まり、需給バランスが崩れ、原料価格大幅上昇の要因となっております。

さらに中国政府は肥料価格の安定を図るため、10月に輸出肥料原料に対する法定検査を開始しました。この検査が開始されて以降、日本へ輸出される肥料原料は限りなく制限されている状況です。なお、中国政府による検査については、12月時点で終了する見込みは立っておりません。

カリ原料についても、世界的な需要増に対し、主産地カナダ・ロシアの在庫量の少なさにより市場価格は上昇しております。

石灰系は製造コストが上昇傾向にありますが、今期においてはほぼ据置です。

上記のとおり、肥料については値上がりとなっており、またメーカーの十分な原料の入手・確保が困難になっているため12月時点で受注を一時停止させていただいております。原料手配の見通しがつき次第、改めてご連絡申し上げます。

北米コンテナ船情勢

全米最大のコンテナ取扱数量を誇るロサンゼルス港及びロングビーチ港では引き続き80隻超のコンテナ本船が沖合に滞船しており、本船の出航も遅れていることから1か月以上のスケジュールの遅延が恒常化しています。

日本向けのアルファルファ・チモシーが多く輸出されている北米西岸部の航路では、通常コンテナ船は米国のシアトル・タコマ港を出港しカナダのバンクーバー港を経て日本に入船しますが、高波と強風の影響でターミナルの閉鎖が増え、沖合到着から接岸まで2週間程度を要し、大きな遅延が発生しています。またカナダでは11月中旬に豪雨の影響で土砂崩れが発生し、港への物流が一時寸断されました。復旧作業を経て、12月上旬より徐々に運航が再開されていますが、正常化には時間を要す見込みで遅延に拍車をかけています。

輸入粗飼料

①ビートパルプ

作付面積が前年比で減少したものの、天候に恵まれ例年以上の単収となりました。春まで製糖作業が続きますが、生産量は前年を上回る見込みです。

②アルファルファ (ワシントン産)

21年産の作況としては、1番刈は高成分な上級品が多く発生しました。一方で、穀物相場の高騰により代替として米国内の引き合いが強く、上級品の多くが内需向けに成約されました。2番刈は中級品中心となり、3番刈は山火事の影響で、過乾燥気味で色目の悪い品質の発生が多くなりました。4番刈は断続的な降雨の影響で多くの雨当たり品が発生しています。

産地相場は、西海岸全域を襲った早魃の影響で自給飼料が不足する近隣州の酪農家及び肥育農家と、中国の旺盛な需要により上級品から下級品まで相場は前年比で大幅に上昇し現在も堅調に推移している状況です。

(オレゴン産)

クラマスフォールズの21年産は早魃の影響で農業用水の使用が制限されたため、生産量は例年の70%程度となっています。品質については収穫時に天候に恵まれたこともあり、上級品が多く発生しています。

中部クリスマスバレーでは全番手を通じ収穫期に降雨に見舞われ、雨当たり品が多く発生していますが、西海岸全域で自給飼料が不足していることから、雨当たり品でも国内向けに高値で売買されています。

③チモシー (US産)

21年産1番刈の作付面積は例年並みでしたが、早魃の影響で単収が大幅に減少し、生産量は例年の60%程度となっています。品質面は上級品中心の発生となった一方で、下級品の発生量が極端に少なくなったため、下級品を中心に産地相場は上昇しました。

コロンビアベースンでは穀物相場が堅調なことから、1番刈収穫後、穀物への転作が増え2番刈の発生量は前年比で20-30%程度減少しています。作況は収穫期にあった山火事の影響で中級品の発生が中心となりました。現在、産地では1番刈、2番刈ともに完売状態となっています。

(カナダ産)

2番刈の作況は例年並みとなっています。21年産は早魃の影響で生産量が減少しており、自給飼料の不足する内需および輸出向けの引き合いは強く、産地相場は堅調に推移しています。

④豪州産オーツヘイ

21年産の収穫作業は概ね終了しています。作況は芳しくないものの、北米産グラスヘイの不足分を補うために日本、韓国、台湾から例年以上に強い引き合いが豪州産オーツヘイに寄せられています。

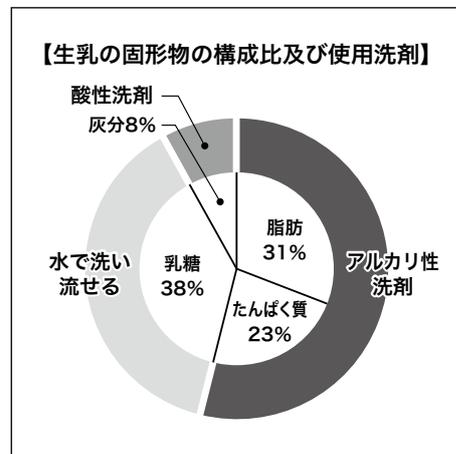
豪州コンテナ船情勢

船腹及び空コンテナ不足が継続しています。豪州から出港したコンテナが経由地で1~2か月程度滞留するケースも恒常化しており、入船スケジュールが大幅に遅延しています。

安心・安全な良質乳を生産する上で、搾乳関連機器の衛生管理は、とても重要であります。また、洗浄等のトラブルによる乳質不良生乳を未然に防ぐためにも、今一度、搾乳機器の洗浄について、確認をお願いいたします。

【洗剤の役割】

- アルカリ性洗剤……脂肪・たんぱく質等の有機物を分解し洗浄します。
- 酸性洗剤……………カルシウム・マグネシウム・鉄分等の無機物を分解し洗浄します。
- 殺菌剤……………洗浄で汚れを完全に落とした上で使用することで、殺菌効果を発揮します。そのため、汚れ（脂肪・たんぱく質等の有機物）が接触すると殺菌効力が弱まります。

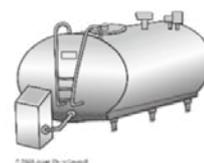
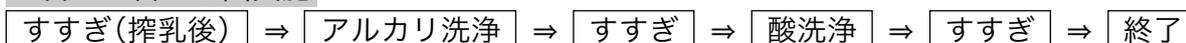


【一般的な洗浄の順番】

① 毎回実施



② 3日～4日に1回実施



※酸洗浄を先に行ってしまうと、たんぱく質が酸性洗剤と反応することで「酸凝固」を引き起こし、機械器具の表面に付着し、落ちにくくなるので注意が必要！

【洗浄力を十分に引き出す4条件！】

1. 洗浄水量…機械メーカーの指定する水量を守る ことが大切です。
2. 洗剤量…洗剤メーカーの指定する濃度を守る ことが大切です。
3. 洗浄温度…洗浄後の排水温度が40℃以上になるように、貯湯温度を60～80℃に確保する必要があります。
4. 洗浄時間…循環洗浄の時間は5～15分間が目安になります。

※洗浄の条件が1つでも欠けてしまうと、洗浄力が低下し、汚れが蓄積することになります。

【洗浄水の性質】

- 軟水…水中の不純物量が少なく、洗浄水として適した水である。
- 硬水…水中の不純物量が多く、洗浄水として不向きな水である。

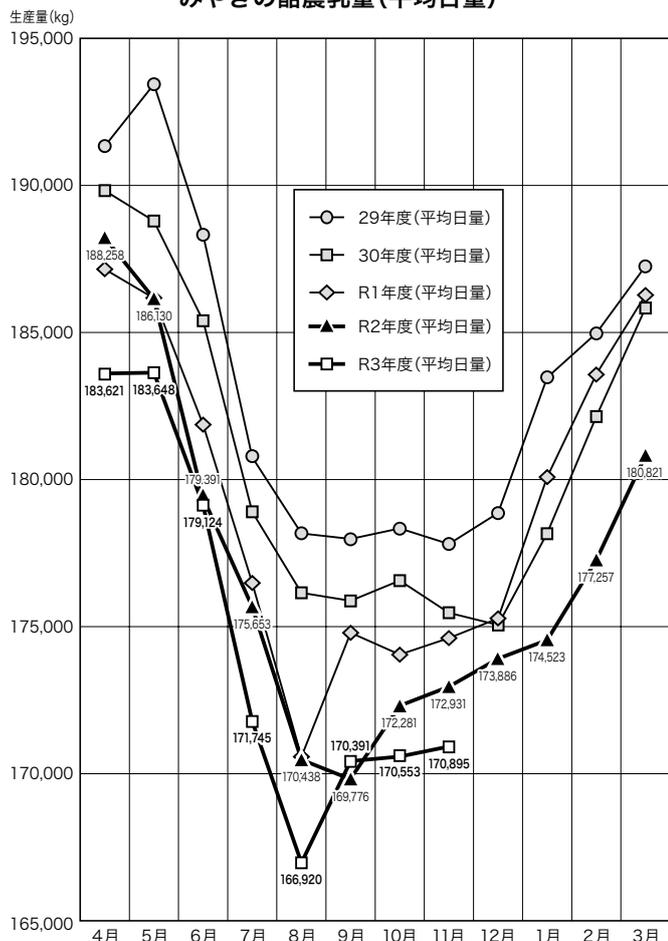


※硬度成分が高い場合、洗剤成分と化学反応を起こすことで洗浄力が低下し、水に溶けない化合物が付着することで洗浄不良を起こす原因になります。

令和3年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和3年度生乳生産実績(4月～11月 標準進捗率66.85%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	22	5,817,899.6	6,004,529.9	96.89	8,965,839.0	64.89
蔵王支部	24	5,780,142.0	5,678,894.9	101.78	8,879,064.0	65.10
柴田支部	14	2,582,880.0	2,763,429.0	93.47	3,937,489.0	65.60
伊具支部	16	3,006,710.0	3,238,503.0	92.84	4,737,268.0	63.47
仙台支部	11	2,505,150.3	2,343,303.5	106.91	3,570,877.0	70.16
名取支部	6	496,052.0	556,717.0	89.10	843,970.0	58.78
黒川支部	6	661,353.0	750,337.0	88.14	1,023,825.0	64.60
大崎支部	19	2,276,952.0	2,285,201.0	99.64	3,521,184.0	64.66
遠田支部	15	4,630,665.0	4,234,135.0	109.37	6,501,185.0	71.23
加美支部	11	1,304,451.0	1,619,596.0	80.54	2,466,487.0	52.89
鳴子支部	8	1,237,678.0	1,398,864.0	88.48	1,952,610.0	63.39
栗原支部	30	4,282,401.0	4,181,238.0	102.42	6,510,239.0	65.78
登米支部	23	4,918,307.0	4,673,415.0	105.24	7,311,753.0	67.27
本吉支部	13	1,043,438.0	1,170,309.0	89.16	1,740,591.0	59.95
石巻支部	5	470,060.0	643,723.0	73.02	811,629.0	57.92
豊里支部	10	1,585,645.0	1,608,009.0	98.61	2,460,990.0	64.43
みやぎの酪農	233	42,599,783.9	43,150,204.3	98.72	65,235,000.0	65.30

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

総務課

【第9回理事会】

開催日 令和3年11月26日

- 付議事項
- 第1号議案 令和3年度上半期決算監査にかかる監事監査報告について
 - 第2号議案 定期賞与(12月期)の支給について
 - 第3号議案 生乳需給緩和対策について

【第10回理事会】

開催日 令和3年12月24日

- 付議事項
- 第1号議案 総務委員会からの答申について
(役員定数及び役員定年制について)
 - 第2号議案 一般資金の融資について

【機 械】

機 械 名	自動給餌機
メーカ-	オリオン
年 式	2014年10月購入
価 格	100万円（税込）
備 考	2020年にバッテリー交換済み 2020年12月まで使用 配合飼料、粗飼料、サプリメント3槽 添加剤2槽



【初妊牛】

No.	支 部	販 売 者	区 分	分 娩 予 定 日
1	加 美 支 部	正永 昭太郎	ホルス(輸入精液)	3月11日
2	加 美 支 部	正永 昭太郎	性判別	3月12日
3	加 美 支 部	正永 昭太郎	ホルス(輸入精液)	3月21日
4	加 美 支 部	正永 昭太郎	ホルス(輸入精液)	3月29日
5	加 美 支 部	正永 昭太郎	ホルス(輸入精液)	4月20日
6	蔵 王 支 部	小島 一也	性判別	5月16日
7	蔵 王 支 部	小島 一也	性判別	5月28日

[編 集 後 記]

新年あけましておめでとうございます。
新型コロナウイルスが世界的に流行してから2年が経ち、新しい生活スタイルに慣れつつありますが、流行前のみやぎのだよりを見返すと、催事の記事が沢山あり、懐かしく感じました。
本年も一層組合員の皆様の目に留まるような内容にしたいと存じますので、本誌を何卒よろしくお願ひ申し上げます。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL. (0229) 34-2311 (代表)